

# 「地域の未来づくり」を考える ／ストック型社会って、どんな社会かな？

期間 28年 10月28日(金)～12月17日(土) [全5回]

応募締切

10月21日(金)

実施  
場所

九州国際大学地域連携センター(サテライト・キャンパス)  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階(42ページ地図参照)

申込・  
問合せ先

九州国際大学地域連携センター  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間

18:30～20:30 (12月17日は15:00～17:00)

定員

30名

受講料

4,000円

## 講座概要

実施機関：九州国際大学地域連携センター

前期に引続き、「地域の未来づくり」を考えながら、地域の課題を織り込みながら、社会実装している内容の紹介を含めて、講義およびディスカッションをおこなっていきます。

月 日	テーマ・内容	担当講師
10月28日 (金)	<b>こんにちはストック型社会、さようならフロー型社会</b> ストック型社会(いいものをつくって、長く使う社会)づくりがなぜ必要なのかを、わかりやすく説明します。	次世代システム研究会会長 元九州国際大学 特任教授 岡本 久人
11月11日 (金)	<b>地域経済とストック型社会</b> ストック型経済、フロー型経済って何? 地域経済がどのように展開されていけば、ストック型社会につながるのかを分かりやすく説明します。	九州国際大学 教授 宇都宮 浩司
11月25日 (金)	<b>人口減少社会・少子超高齢社会の中での 都市交通(コミュニティバス等)の新たな役割</b> 人口減・超高齢化のもとで、路線交通は徐々に減少しています。日常生活の足を確保する狭域都市交通システムを考え、その可能性を考えます。	(株)光タクシー社長 石橋 孝三 九州国際大学 地域連携センター 客員研究員 岩下 陽市
12月9日 (金)	<b>空家を地域の資産に</b> 社会問題化した空家を地域の資産に再生しながら、地域の景観や地域経済、市民生活等への波及の可能性を考えます。	九州工業大学 准教授 (社)リノベーション まちづくりセンター 代表理事 徳田 光弘
12月17日 (土)	① <b>ストック型社会の社会的意味について(60分)</b> ストック型社会の実現が社会的にどのような意味を持つのかという問題について、公共性に関する哲学及び倫理の観点から考えます。 ② <b>第1弾・第2弾セミナーのまとめディスカッション(60分)</b>	① 九州国際大学 教授 松井 貴英 ② 九州国際大学 地域連携センター 客員研究員 岩下 陽市 九州国際大学 教授 三輪 仁